

女性の薄毛・抜け毛に今更そ立ち向かいたい

AGA(男性型脱毛症)と並んで患者様が増加の一途を辿るのが、深刻な女性の薄毛・抜け毛の悩み。神戸大学AGA外来担当医でもある小西和人先生に、FAGA(女性男性型脱毛症)について伺ってみました。

薄毛・抜け毛が急増しているのではなく、症状に気づく方が増えたのです

最近、女性の薄毛・抜け毛でクリニックへ来院される方が増えたという話を非常に多く聞きますが、実は、急激にこの薄毛・抜け毛の症状が増えたわけではありません。その理由は、「ご自身が薄毛・抜け毛の症状がある、つまり頭皮等の病気ではないのかと考える方が多くなり、相談にみえることが増えたからです。女性は「私の髪はコシがなくて、すぐにペシャンコにつぶれやすい」、「髪が細いからボリュームが出ない」とおっしゃる方が多く、シャンプーなどヘアケア製品にこだわる場合が大多数だと思います。実はこの自覚こそがFAGA(女性男性型脱毛症)のはじまりなのです。

芦屋美容クリニック院長
椿クリニックグループ顧問医師

小西和人 先生



男性のAGAの場合は、まず額の生え際が後退する、頭頂部が薄くなるという部分的な症状が顕著ですが、女性のFAGAでは加齢にともない頭部全体の毛髪が細くなる特徴があります。前頭部の生え際の後退はほとんどなく、頭全体の毛が抜けてしまうため、脱毛している箇所がはつきりわからないのが特徴です。しかも、その大きな原因となるのが血行不良とホルモンバランスの乱れであることがわかっていきます。さらに、貧血を起しやすく冷え性という女性特有のお悩みをもつ方がFAGAの症状を訴えることが多いというのも現実。

さらにこのベースとなる原因に、ヘアカラー、パーマなどの外的要因、社会進出による男性同様のストレス等の要因、甲状腺ホルモンの異常等、様々な要因が複雑に絡み合っただけで薄毛・抜け毛を招きまします。30代後半から毛髪密度が減少し始めることが多く、初期段階はコシがなくなったりボリュームが出ないと感じるようになりまします。さらに進行すると頭髪全体に症状が出て、排水口や枕に抜け毛が増えたり、分け目が目立つようになってしまうのが特徴です。AGAと同様に毛周期が加齢等で乱れることにより休止期毛の割合が多くなることで抜け毛が増え、やがて脱毛症へと進んで行くのです。ですから、まず丁寧なカウンセリングや問診、血液検査等で患者様の体質やアレルギーの有無などを見極めてから、治療をスタートしなければ、女性の薄毛・抜

け毛にきちんと対応することはできませんし、医院の治療メニューに加える際にも重要なポイントだと考えています。

改善が見られるまでの期間を我慢してもらう。それが治療のキモです

FAGAの治療には、内服薬と外用薬の組み合わせが基本となります。発毛を促し、毛髪の成長を刺激して薄毛を治療、髪質も改善する成分を配合した「女性の薄毛・抜け毛」に特化した内服薬や外用薬を選んで使用します。近年ではミノキシジルの使用も多くなりました。私が治療について、いちばん重要だと思っなのは、患者様に効果が出るまで必ず続けていただく「大切さを理解してもらうこと」です。最低、3ヶ月は通院しながら治療を続けないと発毛効果が得られないことを、必ずカウンセリング時に説明

し、納得していただかなければ女性の薄毛・抜け毛を克服することは不可能です。すぐに効果を実感したいといわれる患者様には、話題のAGF(自己由来幹細胞成長因子)療法などアクレッシブな治療をおすすめする場合があります。

芦屋美容クリニックでも、「生やす・太くする・維持する薄毛治療」を行っていますが、患者様が「もしや私も薄毛・抜け毛では？」と感じられることが多くなってきた今こそ、必要な治療メニューではないかと考えています。

芦屋美容クリニック

兵庫県芦屋市東芦屋町1-20
セラヴィ芦屋ビル1F
TEL 0797-25-7678
<http://ashiya-biyou.com/>

